

# 幸町一丁目地区 区民対話会

◆日時:平成26年9月21日(日)

午前10時00分～11時30分

◆場所:千葉ガーデンタウン管理センター  
会議室

1

【テーマ】

地域の将来像と担い手

～持続可能な地域コミュニティの構築～

2

## 地域コミュニティとは

日ごろの生活や活動を通じて作られていく、  
地域の住民や団体どうしのつながりや  
顔見知りの関係



自分たちの住んでいる地域を、  
みんなの力で自主的によくしていく

3

## 地域コミュニティの必要性

### 環境の変化

- 少子高齢化＋単身世帯の増加、子どもの安全、  
防災防犯  
⇒「地域」で支えていく必要のある世帯の増加
- 東日本大震災  
⇒日頃からの身近な人同士の交流の大切さの  
再認識



地域コミュニティの必要性は以前よりも  
高まっている

4

## 地域コミュニティの現状

### 身近なところで増加する社会問題

- 高齢者の所在不明問題  
(消えた高齢者)
- 高齢者の孤立死 年間1万5千人
- 認知症行方不明者 年間1万人
- 児童・高齢者虐待…

### 地域活動の低下

- 町内会、自治会の加入率低下
- 新住民、若い世代等の地域活動への参加が低調
- 「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」といった自助・共助機能の低下

**地域コミュニティの力が弱まっている**  
地域の住民同士のつながりが希薄化 ⇒ 無縁社会

5

## 地域コミュニティの力はなぜ弱まったか

### 考えられる理由

- 少子高齢化、人口減少
- コミュニティ活動のきっかけとなる子どもの減少
- 価値観やライフスタイルの多様化
- 地域への愛着・帰属意識の低下
- 昼間に地域にいないことによるかかわりの希薄化
- …

6

## このままいくと...

- 特定の人だけが地域活動を行う
- 地域団体の役員のなり手がいない
- 役員の高齢化、固定化⇒負担が集中



- 役員の高齢化、少数化によるさらなる活動低下
- 役員が培ったノウハウが継承されない



**地域コミュニティの継続が困難**

今はよくても将来はない...

7

## 地域の目指す将来像を考えてみましょう

例えば...

世代を超えたつながりと幅広い連携により地域活動が充実するまち



- 高齢単身者と地域がつながる機会の増加、拡大
- 子育て世代、若い世代の地域活動への参加の拡大
- ボランティアや大学等と連携する地域活動、団体の増加

8

もう少し具体的に、理想の地域生活を想像してみましょう

例えば...

- どこでもいつでも「挨拶」がある
- 誰でも参加できる楽しいイベントがある
- まちの美化などみんなが活動する
- 災害時などのもしもの備えがある
- 安心の見守りや支え合いがある

→本日の意見交換で、みなさんの考えをお聞かせください

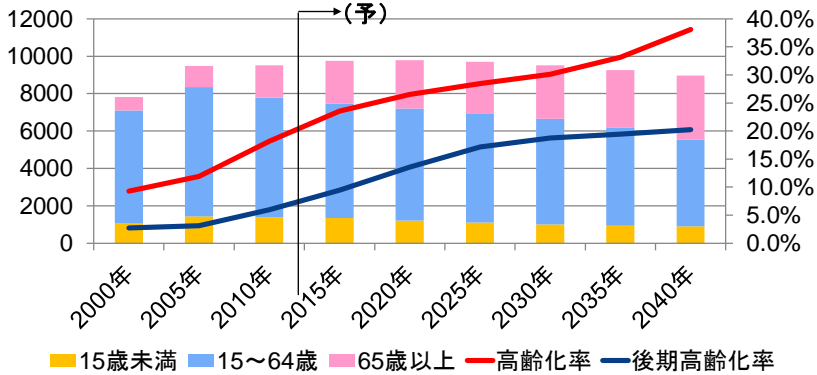
9

## 幸町一丁目地区の 現状

10

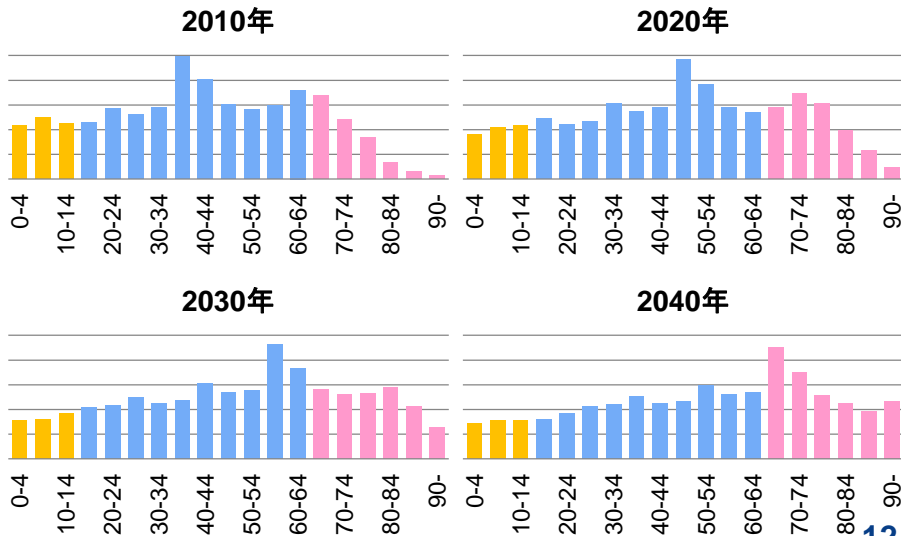
## 将来推計人口・年齢別人口構成

- 地区の人口は、2020年に約9800人となり、その後減少
- 高齢化率は、2010年の18.2%から2040年には38.1%に
- 後期高齢者(75歳以上)の占める割合は2040年に20.2%に増加



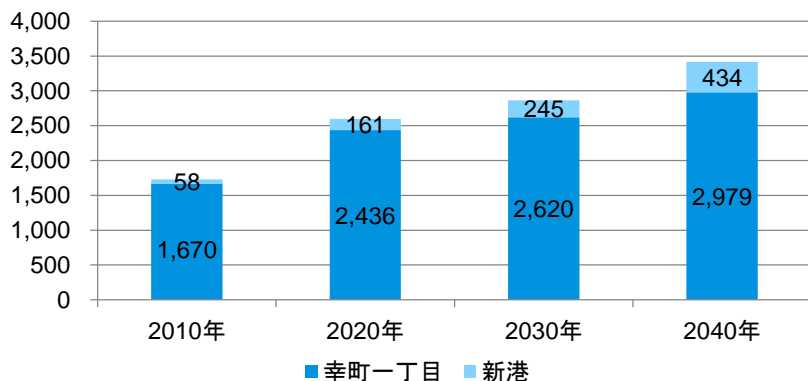
出典：平成12年、17年、22年国勢調査  
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

## 年齢別人口構成の将来予測



## 高齢者数の将来予測

- 高齢者数は急増
- 2010年から2040年にかけて地区の高齢者数は約2倍に

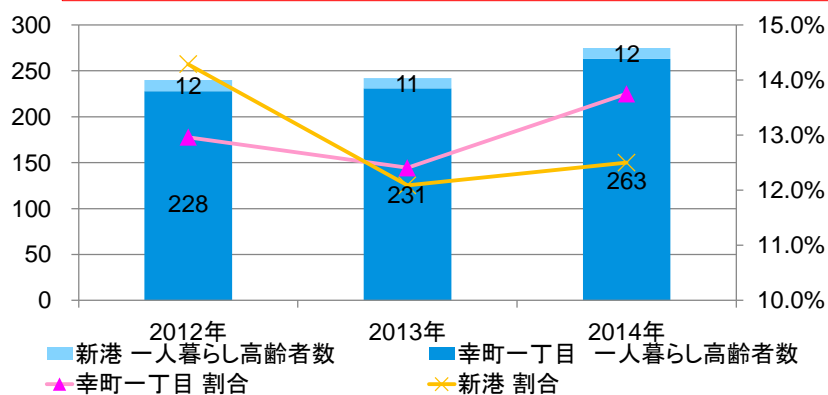


出典：平成22年国勢調査  
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

13

## 一人暮らし高齢者の数と割合

- 一人暮らし高齢者の数は、幸町一丁目以增加傾向
- 高齢者に占める一人暮らしの割合は、12~14%台で推移

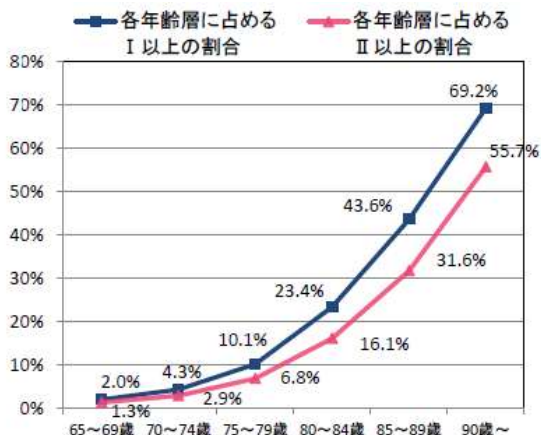


出典：平成24~26年度高齢者実態調査(千葉市高齢福祉課)  
町丁別年齢別人口(千葉市統計課)

14

## 認知症高齢者の増加

### ■年齢が上がると、認知症の割合が急増



I、IIは認知症高齢者の日常生活自立度

I：何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。

II：日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。

出典：平成25年11月 要介護者数・認知症高齢者数等の分布調査（東京都）

15

### ■認知症高齢者の割合は増加を続ける

全国の「認知症高齢者の日常生活自立度」II以上の高齢者数は2010年で280万人、高齢者の9.5%。

2025年には470万人、高齢者の12.8%となる見込み。

#### 2. 将来推計

(単位：万人)

将来推計(年)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)
日常生活自立度 II以上	280 9.5%	345 10.2%	410 11.3%	470 12.8%

※平成24年(2012)を推計すると、305万人となる。

※下段は65歳以上人口に対する比率

#### 【算出方法】

○将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所：H24.1推計。死亡中位出生中位)に、上記1の算出方法による平成22年9月の認知症高齢者割合を性別年齢階級別に乗じて推計した。

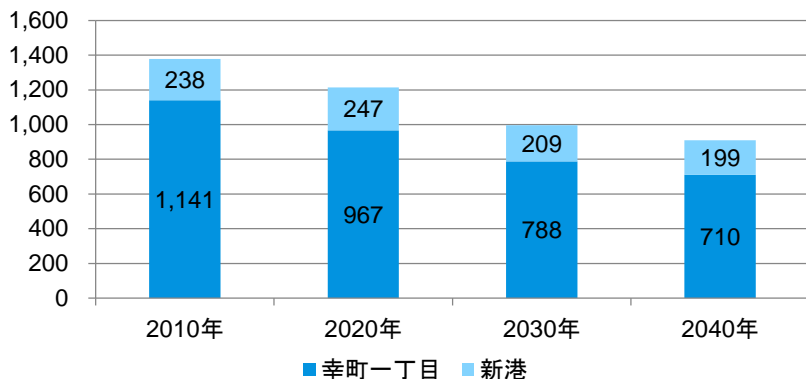
出典：「認知症高齢者の日常生活自立度」II以上の高齢者数について  
(厚生労働省)

16



## 子供の数の将来予測

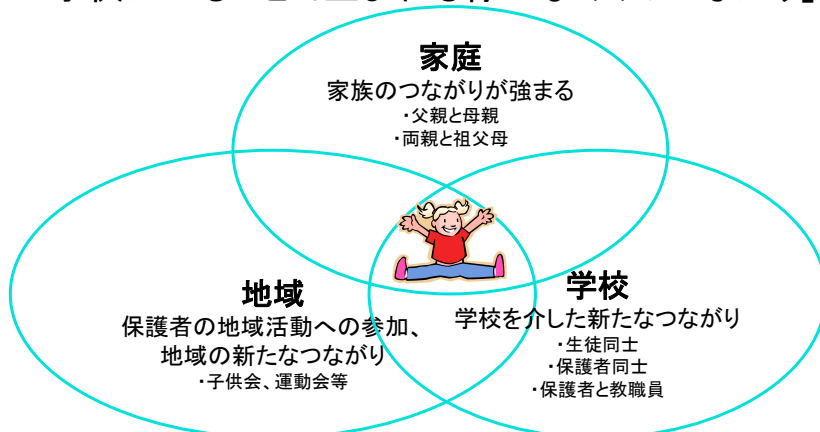
- 子供の数は一貫して減少
- 2010年から2040年にかけて地区の子供数は約2/3に



出典：平成22年国勢調査  
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

## 少子化が地域に及ぼす影響

子供がいることで生まれる様々な「人のつながり」



子供の減少＝つながりの減少

(地域コミュニティの弱体化)

## 土地利用

- 幸町1丁目は、共同住宅や社宅が過半を占めるほか、幹線道路沿いに飲食店等の店舗・事業所が、また、西側に戸建エリアが存在
- 新港は、工場や事業所が大半を占め、一部に共同住宅が存在

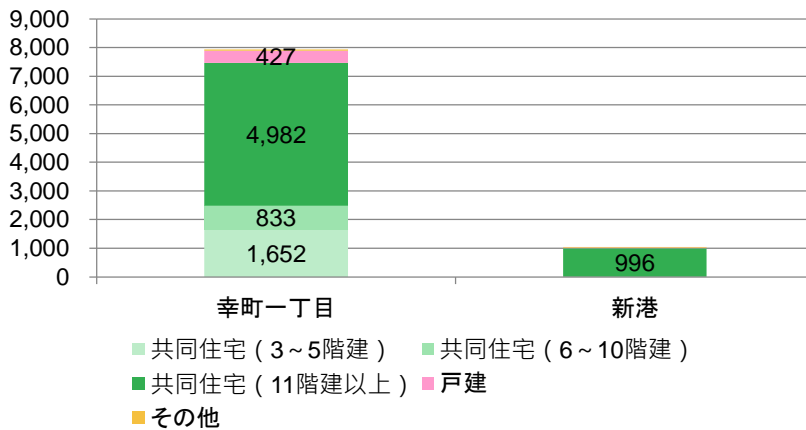


出典：  
住宅地図をもとに  
美浜区地域振興課作成

19

## 住宅形態別人口

- 共同住宅が人口の約95%を占める
- 共同住宅は11階建以上が最も多く、人口の約2/3を占める

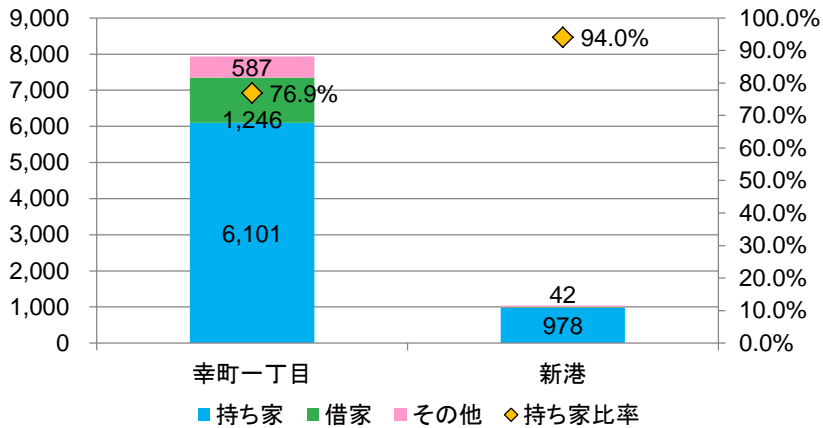


出典：平成22年国勢調査

20

## 住宅所有別人口

■ 持ち家比率は幸町一丁目で約77%、新港は94%



出典：平成22年国勢調査

## 街頭犯罪発生状況

- 平成25年には、幸町一丁目44件、新港で51件の重点街頭犯罪が発生
- 幸町一丁目では自転車盗が、新港では自販機ねらいがそれぞれ約60%を占める
- 新港の自販機ねらいは30件であり、市全体の同犯罪(46件)の約2/3が新港で発生



出典：平成25年町丁別重点街頭犯罪発生件数(千葉西警察署)

## 自治会結成状況

- 住宅エリアのほぼ全域に加え、新港の工業エリアの一部で自治会結成済み



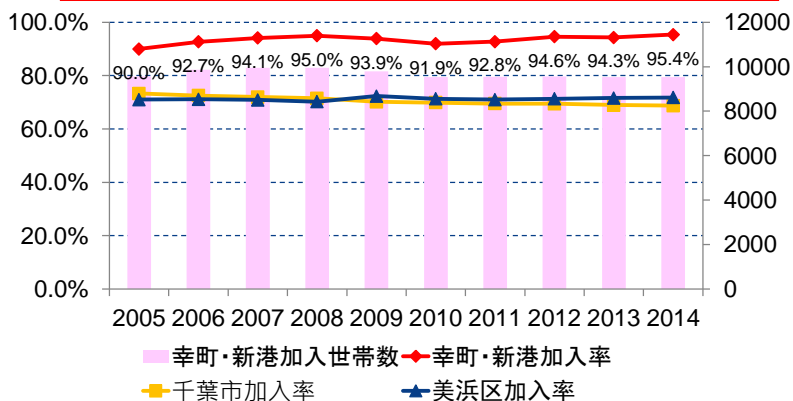
■ 結成済

23

## 自治会加入率

※以下の表の「幸町・新港」には、幸町二丁目も含む

- 市・美浜区平均が70%程度であるのに対し、幸町・新港では95.4%と非常に高い数値となっている

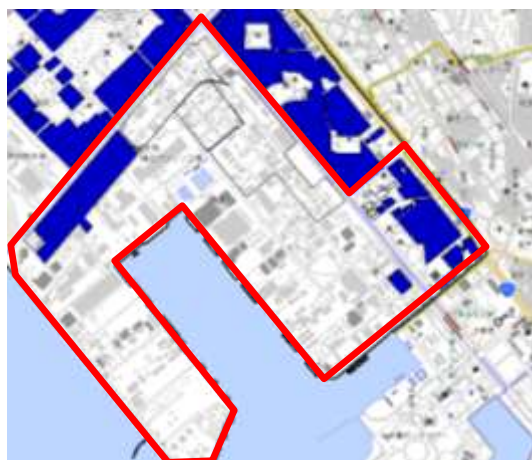


出典：平成17～25年度町内自治会のしおり(千葉市町内自治会連絡協議会)  
町丁別人口及び世帯数(千葉市統計課)

24

## 自主防災組織結成状況

- 幸町一丁目の小規模な共同住宅、新港の一部自治会で未結成



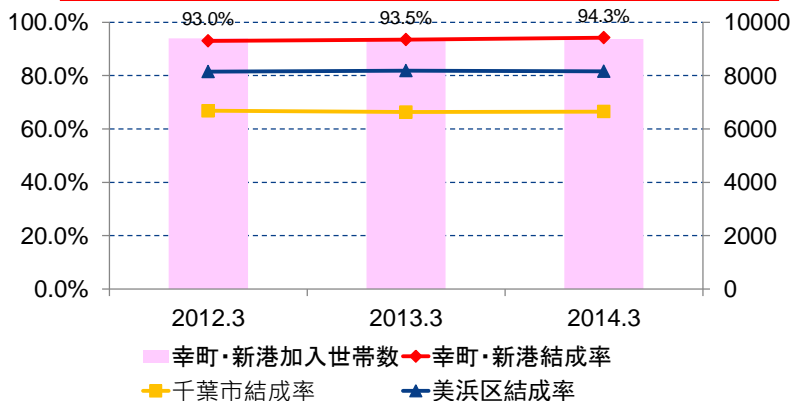
■ 結成済

25

## 自主防災組織結成率

※以下の表の「幸町・新港」には、幸町二丁目も含む

- 市平均が60%台であるのに対し、幸町・新港では94.3%と非常に高い数値となっている



出典：平成23～25年度末自主防災組織結成状況(美浜区地域振興課)  
町丁別人口及び世帯数(千葉市統計課)

26

## 地域団体役員数

※美浜区が役員を把握している5団体のみを掲載しています。

地域団体	役員数	うち 兼務者数
地区町内自治会連絡協議会	18	15
青少年育成委員会	84	33
スポーツ振興会	29	22
民生委員児童委員協議会	13	11
社会福祉協議会地区部会	60	29

### 兼務状況

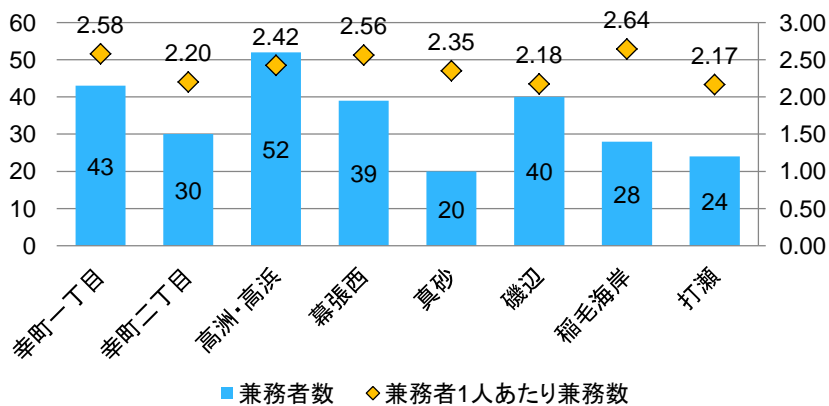
- ・兼務者数 43人
- ・兼務者1人あたり兼務数 2.58
- ・最大兼務数 4(5人)

出典:5団体役員調査(美浜区地域振興課 H26.3実施)

27

## 地区別 地域団体役員員の兼務状況比較

■ 兼務者数、兼務者1人あたり兼務数ともに8地区中2位と高い  
→一部の担い手が様々な団体を支えている



出典:5団体役員調査(美浜区地域振興課 H26.3実施)

28

## 36連協が実施した 町内住人アンケート調査

- 実施時期 平成23年10月
- 対象及び回答数  
配布数 3,419 回収数 1,820 回収率 53.2%
- 設問内容
  - ・ 住み心地への満足度
  - ・ 入居年数、家族構成、年齢層
  - ・ 安全と利便性、快適さ
  - ・ 買物の手段、近所のお店への満足度
  - ・ 今後の暮らしの不安、不安を解消する取組
  - ・ 近所付き合い
  - ・ 情報収集の方法
  - ・ 地域住民による活動の認知度 など

29

## 町内住人アンケート調査結果1

### ■ 満足度の高い項目

項目	満足	まあまあ	改善すべき	関心ない
交通の利便性	54%	42%	4%	0%
緑や花などの自然	44%	48%	8%	0%
生活上の安全・防犯	33%	59%	8%	0%

### ■ 満足度の低い項目

(改善すべきとの回答が多い項目)

項目	満足	まあまあ	改善すべき	関心ない
買い物	13%	48%	39%	0%
建物の老朽化	12%	55%	33%	0%
駐車場	20%	46%	28%	6%
屋外のバリアフリー	13%	59%	27%	1%

30

## 町内住人アンケート調査結果2

### ■今後暮らしていくうえでの不安

(複数回答・回答数の上位3項目)

1. 災害時の対応や避難、被災後の生活 55%
2. 自分自身や家族の健康のこと 51%
3. 家族の介護・自分自身が介護されること 40%

### ■不安解消への取組として重要なもの

(複数回答・回答数の上位3項目)

1. 一人暮らし高齢者の見守りや緊急時の連絡
2. 緊急時や災害時の要援護者の救助
3. 24時間対応の介護・医療

31

## アンケート結果をふまえた地域の活動1

「金曜ふれあい市」の開催(平成24年～)



32



## アンケート結果をふまえた地域の活動2

36連協・地域安全マップの作成(平成25年度)



33

## 地区の課題

### ■進行する高齢化への対応

- 一人暮らし高齢者の見守り
- 認知症高齢者の地域での受け入れ
- 高齢者の地域でのつながり など

### ■地域活動の担い手確保

### ■災害時の体制整備

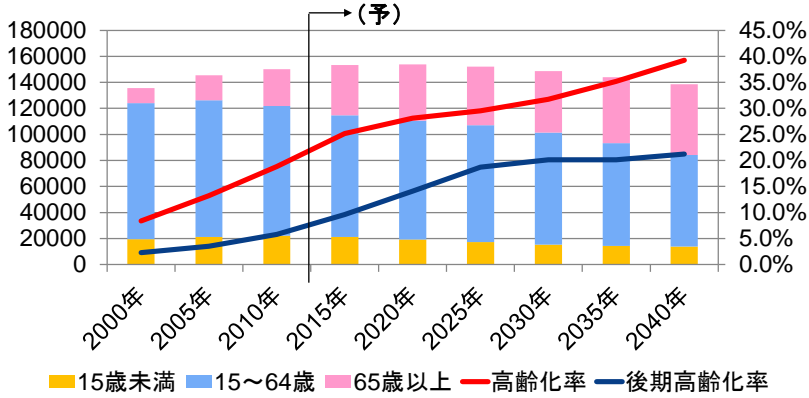
### ■買い物環境の一層の改善

34

【参考】

## 美浜区の将来推計人口・年齢別人口構成

- 区の人口は2020年をピークに減少
- 高齢化率は2010年の18.9%から2040年には39.3%に



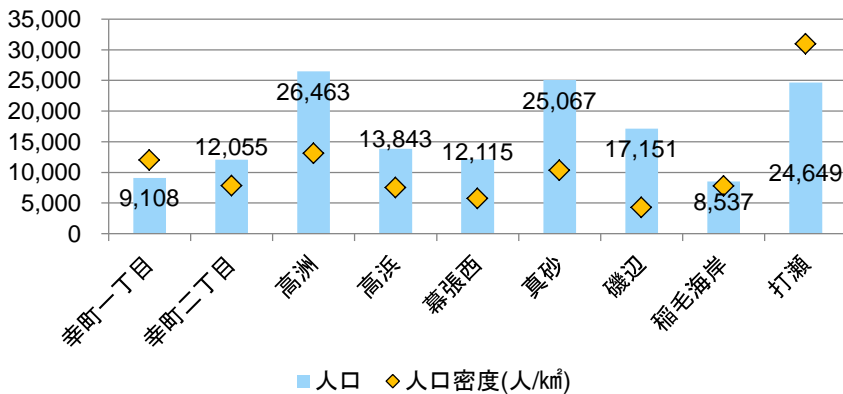
出典：平成12年、17年、22年国勢調査  
将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)

【参考】

## 地区別 人口・人口密度

※幸町一丁目地区には、新港を含む

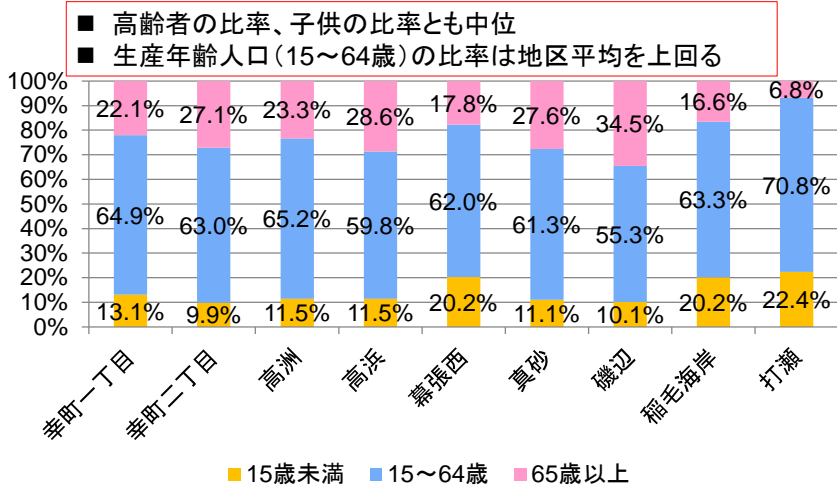
- 人口は少ないが、人口密度は3番目に高い



出典：平成26年6月末町丁目別年齢別人口(千葉市統計課)

【参考】

## 地区別 年齢別人口構成比

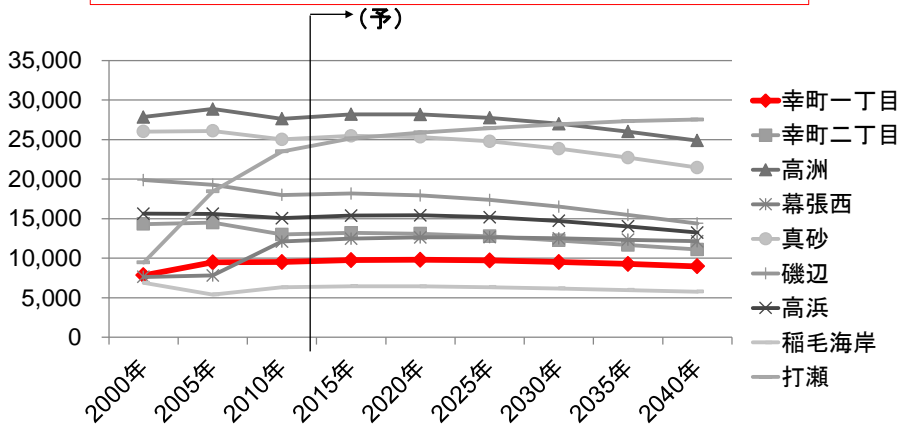


出典:平成26年6月末町丁別年齢別人口(千葉市統計課)

【参考】

## 地区別 将来推計人口

- 地区人口は2020年がピーク、その後減少  
 ■ 2020年以降、減少速度は時間とともに増加



出典:平成12年、17年、22年国勢調査  
 町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)